

レジメン名

Ph陰性ALL地固め療法(G2)

出典 JALSG ALL202

## 実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陰性ALL(25歳以上50歳未満)

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
初発  


## 投与減量の基準

Cr	1.5mg/dL以上		
その他	MTXを75%量に減量		

## 投与中止の基準

WBC	3000/mm <sup>3</sup> 未満	ANC	1000/mm <sup>3</sup> 未満
Plt	8万/mm <sup>3</sup> 未満		
その他	※Cr 2.0mg/dL以上のときMTXのみ中止		

1クール期間

(次のクールまでの標準期間)

総クール数

2.5クール目

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
メトトレキサート(メソトレキサート)	15mg/body	髄注		d1、15
デキサメタゾン	3.3mg/body	髄注		d1、15
ピンクリスチン(オンコビン)	1.3mg/m <sup>2</sup> (上限2mg)	輸液100mL	30分	d1、15
メトトレキサート(メソトレキサート)	3000mg/m <sup>2</sup>	輸液800mL	24時間	d1、15
6-メルカプトプリン(ロイケリン)	25mg/m <sup>2</sup>	経口		d1-21
ロイコボリン	50mg/回を 1日1回	輸液100mL	15-30分	d2、16(MTX終了後12時間後)
ロイコボリン※	15mg/m <sup>2</sup> を 1日4回	輸液100mL	15-30分	d3、17(50mg/回投与後6時間毎)
ロイコボリン※	15mg/m <sup>2</sup> を 1日3回	輸液100mL	15-30分	d4、18(6時間毎)
※ロイコボリン15mg/m <sup>2</sup> を6時間毎に計7回投与する。				
※ロイコボリンは、MTX血中濃度が48時間値>1 μmol/l、72時間値>0.1 μmol/lの時、50mg/回(6時間毎)に増量し、MTXレベルが0.1 μmol/l未満になるまで続ける。				

## 1日投与順

(経時的にプレメディケーション・ポストメディケーション)

d1、15

- ①メトトレキサート15mg+生食2-6mL(髄注)
- ②デキサート3.3mg(髄注)

day1、15

- ①グラニセトロン3mgバッグ(30min)
  - ②オンコビン1.3mg/m<sup>2</sup>+輸液100mL(30min)
- オンコビン開始から60分あけてメトトレキサート開始
- ③メトトレキサート3000mg/m<sup>2</sup>+輸液800mL(24hr)
  - ④生食50mL(フラッシュ用)
  - ⑤(側管)グラニセトロン3mgバッグ(30min)
- (①開始から12時間後)

d2、16(MTX投与終了12時間後に開始)

- ①ロイコボリン50mg+輸液100mL(30min)×1回

d3、17(50mg/回投与後、6時間毎)

- ①ロイコボリン15mg/m<sup>2</sup>+輸液100mL(30min)×4回

d4、18(6時間毎)

- ①ロイコボリン15mg/m<sup>2</sup>+輸液100mL(30min)×3回

d1-21

- ①ロイケリン25mg/m<sup>2</sup>内服 分1眠前